

令和3年度第1回向日市歴史的風致維持向上協議会 議事要点録

- 日 時 令和4年2月16日（水）午後1時30分から3時まで
- 場 所 向日市役所 第7会議室 及び WEB会議
- 出席者
 - （委員）高木会長、神吉副会長（WEB）、杉本委員（WEB）、阿部委員（WEB）、
小山委員、稲本委員、西川委員、六人部委員、今井委員（WEB）、森委員（WEB）、
瀬野委員（WEB）、清水委員（WEB）、水上委員、福岡委員、玉城
副部長（清水委員代理）
 - （オブザーバー）近畿地方整備局建政部計画管理課 堀越課長（WEB）
京都府政策企画部企画参事付 西田参事（WEB）
 - （事務局・説明員等）
ふるさと創生推進部 鈴木部長、安田企画広報課長
企画広報課 山中係長、山口主査、平塚主査
建設部 都市計画課 今井課長
教育部 文化財調査事務所 渡辺所長
- その他出席者
傍聴者なし
- 会議概要
 - 1 部長あいさつ
 - 2 議事内容
 - （1）向日市歴史的風致維持向上計画 令和3年度進行管理・評価シートについて
国に提出する予定の進行管理及び評価に係る資料に基づき、事務局から令和3
年度実施事業の進捗等について説明を行った。
 - （2）令和4年度実施予定事業の主なものについて
令和4年度当初予算記者発表前であったため、各委員に対し、追って資料を送
付することとした。

【意見の要旨】

- 会 長： 令和3年度進行管理シートについて、意見を交わしていきたい。まず、「重点
区域における良好な景観を形成する施策」についてはいかがか。
- 委 員： 都市計画決定された阪急洛西口駅西地区について、この辺りはこれまでから田
園地帯が守られてきたが、徐々に都市化、市街地開発が進んできている。
地元の農家の中には田園風景を守ろうと活動しておられる方もいるが、歴史的
風致には用水路や田園風景も含まれていることから、こうした農家の方の活動を
歴史まちづくりとして、例えば広報でPRするなど、なんらかの形で応援するこ
とができないか。
- 会 長： 昨年のまちあるきであの辺りを散策し、周辺の成り立ちや歴史を知ることがで

きた。

阪急洛西口駅は市内でも数少ない田園風景が広がり、向日丘陵が一望できる場所であり、委員の意見が反映できれば。

事務局： 委員がおっしゃったとおり、阪急洛西口駅周辺の田園地帯は、営農されている農家の方々の努力によって緑が確保されている。

しかしながら、一方で、農家の高齢化が進み、営農が困難となりつつある。

今回の都市計画によって保存と開発を分け、メリハリをつけたまちづくりを検討しているところ。

いただいたご意見はまちづくり協議会等にも伝えていく。

委員： 阪急洛西口駅周辺はホテル計画があったと聞いている。

現状、向日市には宿泊施設がないため、こうした施設があっても良い。

事務局： 本来は調整区域であるため、宿泊施設は建設できないが、地区計画を定めることで建設可能としている。

会長： 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項について、いかがか。

今年の向日市の歴まち事業として大きなものは資料館の２つの特別展、旧上田家住宅の整備が挙げられる。それぞれ補足説明をお願いしたい。

事務局： 旧上田家住宅は、桓武天皇の内裏跡であったと考えられる土地を史跡として整備するため、土地を買い上げ、併せて、その上に建設されていた明治時代の農家住宅を登録文化財として整備したもの。

このような整備の仕方はおそらく全国でも初の試み。

住宅敷地内には内裏内郭築地回廊の位置を示す舗装や柱跡の表示などをし、住宅前にある南内裏公園には内裏外郭築地回廊を復元した。

旧上田家住宅内には実際に使用できるカマドや内蔵を改装したギャラリーなどを備えている。

現在、施設開館後、２か月で約９００人が訪れ、お茶会やお餅つき、絵画教室など９組の貸館利用があった。

そのほか、府の観光事業の一環でご紹介いただき、PRなどご支援いただいている。

委員： 史跡長岡宮跡、旧上田家住宅を一体的に整備するといった手法は、歴まち計画らしい良い取り組み。

回廊跡や柱跡は屋内にも表示されているのか。内裏外郭築地回廊はどのように復元整備されているか。

事務局： 内裏内郭築地回廊は築地部、回廊部、雨落ち溝部などそれぞれ視覚的にも分か

るよう、分けて整備し、柱跡は室内にも表示している。

内裏外郭築地回廊は、雨落ち溝や築地などを復元し、イラスト等を交えた解説版を設置している。

委員： 内裏内郭築地回廊の表示など歴史を立体的に確認することができ、非常にイメージしやすい。

委員： これまで歴まちでまちあるきをしてきたが、向日市民は歴史の謎を解いていくこと、考察したいというアプローチをされる方が多く、重層的に歴史が折り重なっている旧上田家住宅を知ることで他の史跡や文化財でも同様に考察するきっかけとなることを期待したい。

また、今回のような一体的な整備を全国的にも先進事例として発信してもらいたい。

会長： 委員がおっしゃったように重層的な歴史を同時に保存するという最先端の保存整備は相当評価されるものとする。

会長： 資料館の事業についても補足説明をお願いしたい。

事務局： 「寿岳文章人と仕事展」は令和2年度に実施した特別展で、当時、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となった国際シンポジウムの開催と併せて再度、実施したもの。

本市の歴史的風致としては比較的近現代のもので、向日庵の建物としての文化的価値に加え、向日庵で保管されていた資料を整理することで和紙、書物など、寿岳文章の業績について、より多くの方々に知ってもらうことができた。

国際シンポジウムはオンラインで開催したことが功を奏し、世界中から多くの方に参加していただくことができ、本市の歴史的風致をグローバルに発信することができた。

また、「日本画家・六人部暉峰の世界」では市内の歴史的風致でもある向日神社縁の女流画家で、これまでほとんど世に出ることがなかった六人部暉峰を、本館の職員が調べ、六人部家がこれまで調べてこられたことと併せて取り上げ、と専門の美術研究者からも高い評価を得るとともに大きくアピールすることができた。

開催時期、新型コロナウイルス感染症が落ち着いていたということも相まって、北は北海道、南は九州から多くの方が来館された。

本市の新たな歴史的風致として日本中にPRできる機会となった。

委員： 六人部家がこれまで知らなかった内容もご紹介いただき、今回、このように企画していただいたことで非常に大きな反響があった。

六人部家として先人をご紹介いただいたことを本当に感謝したい。

委 員： 寿岳文章も六人部暉峰もとても素晴らしい内容ではあるが、評価シートの書きぶりが少しあっさりしている。

これらの取り組みがいかに文化的価値があるか、そういった掘り起こし度のようなものを評価シートにも反映できれば。

事務局： 資料館、文化財調査事務所の取り組みは数多くのメディアでも取り上げられており、反響が大きかったことは承知している。

どういった声があり、どのように評価されているか、所管部署と協議しながら具体的な実績を交え、評価シートに反映させていく。

会 長： 文化財の保存または活用に関する事項について、補足説明をお願いしたい。

事務局： 史跡乙訓古墳群を今後、整備していくに当たり、京都府の文化財保護課のご指導もいただきながら保存活用計画を策定した。

また、防火活動として消防設備の立入検査の実施や、現在、進めておられる誓弘寺の仏像修理に京都府、向日市から補助している。

委 員： 古都のまちブラガイドの活動はどのようなものか。

事務局： これまで実施していた観光を通じたまちづくりを担う人材育成プログラムに参加された市民の方々にボランティアガイド団体を立ち上げられた。

まちあるきツアーの企画や、地元高校生へのガイド、観光パンフレットの監修など本市の観光行政にもご協力いただいている。

会 長： 向日市は旧石器時代から近現代に至るまで多くの歴史、文化が折り重なっている。「顕著な文化的価値」としての古代の長岡京宮、中世の日蓮宗寺院、近世の西国街道などとともに、近現代の向日庵と西向日住宅があるだろう。また旧上田家や資料館の展示は、若い方やこれまで訪れられなかった方などの新たなターゲット層を拡大することができたと感じている。